

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年05月23日

計画の名称	陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	陸前高田市												
計画の目標	陸前高田市民が安全に安心して快適に通行できる道路整備と橋梁の修繕を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,912	A	2,762	B	0	C	150	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	5.15	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		h 27	h 29	h 31
1	市道を改良、舗装新設及び側溝・舗装の修繕を実施することにより、市民が安全に安心して快適に通行することができる道路が増加する。また老朽化が進む市道橋の修繕を予防的に実施することでより安心・安全・快適な道路となる。 陸前高田市内の舗装の修繕率により算出する。 修繕済舗装箇所数/H31までに舗装修繕が必要な箇所数	24%	50%	100%
2	市道を改良、舗装新設及び側溝・舗装の修繕を実施することにより、市民が安全に安心して快適に通行することができる道路が増加する。また老朽化が進む市道橋の修繕を予防的に実施することでより安心・安全・快適な道路となる。 陸前高田市内の側溝の修繕率により算出する。 修繕済側溝箇所数/H31までに側溝修繕が必要な箇所数	20%	50%	100%
3	市道を改良、舗装新設及び側溝・舗装の修繕を実施することにより、市民が安全に安心して快適に通行することができる道路が増加する。また老朽化が進む市道橋の修繕を予防的に実施することでより安心・安全・快適な道路となる。 陸前高田市内の歩道整備率により算出する。 歩道整備延長/H31までに舗装整備が必要な延長	20%	100%	100%
4	市道を改良、舗装新設及び側溝・舗装の修繕を実施することにより、市民が安全に安心して快適に通行することができる道路が増加する。また老朽化が進む市道橋の修繕を予防的に実施することでより安心・安全・快適な道路となる。 陸前高田市内の橋長15m以上の橋梁の修繕率により算出する。 修繕済橋梁数/橋梁長寿命化修繕計画によりH31までに必要とされる橋梁数	50%	80%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	修繕	(他)柳沢1号線外	舗装新設 L = 4,000m	陸前高田市						400	-	
	A01-002	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	修繕	(他)相川新田線外	側溝補修 L = 10,000m	陸前高田市						900	-	
	A01-003	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	修繕	(他)嶋部線外	舗装修繕 L = 8,000m	陸前高田市						400	-	
	A01-004	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	修繕	(他)山崎線外	橋梁補修 N = 12橋	陸前高田市						262	策定済	
		橋梁補修の県パッケージへ切替																	
	A01-005	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	交安	(1)今泉下矢作線	道路改良 L = 2,700m	陸前高田市						500	-	
	A01-006	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	計画調査	路面性状調査事業	調査	陸前高田市						100	未策定	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(他) 誂石線	道路改良 L = 170m	陸前高田市						200	-	
											小計						2,762		
											合計						2,762		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	C01-001	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	計画調査	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	橋梁点検・修繕計画策定	陸前高田市						50	-	
		橋梁の長寿命化計画の策定を行い、経済活動の基盤となる道路の橋梁補修を計画的かつ効率的に実施することにより、快適で安全・安心な通行を確保する。																	
	C01-002	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	計画調査	路面性状調査事業	調査	陸前高田市						100	-	
		道路面の性状調査（点検）を行い、経済活動の基盤となる道路の補修を実施することにより、快適で安全・安心な通行を確保する。																	
																		小計	150
																	合計	150	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本事業を主管し、市道の整備及び維持管理の所管課である建設課で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、その要因を分析した。	令和4年5月
	公表の方法
	陸前高田市ホームページにより公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市道に係る舗装補修等の事業の実施に伴い、道路交通の安全性が向上した。 ・通学路の歩道整備により、児童通学の安全性が向上した。 ・橋梁の補強及び修繕の実施により、道路橋の健全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	[修繕済舗装個所数] / [H31までに舗装修繕が必要な個所数]	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	[修繕済側溝個所数] / [H31までに側溝修繕が必要な個所数]	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	[歩道整備延長] / [H31までに歩道整備が必要な延長]	
	最終目標値	100%
	最終実績値	40%
4	[修繕済橋梁数] / [橋梁長寿命化修繕計画によりH31までに必要とされる橋梁数]	
	最終目標値	100%
	最終実績値	90%

東日本大震災に係る災害復旧工事との調整が必要となり、歩道整備率が目標値を下回った。

東日本大震災に係る災害復旧工事との調整が必要となり、橋梁修繕率が目標値を下回った。